

R6年度 七城中学校 学校評価アンケート

※アンケート実施期間：前期(R6.9/13～9/30)、後期(R7.1/24～2/7)

※回答人数：前期 生徒129名・保護者104名・教職員15名

後期 生徒129名・保護者100名・教職員18名

※数値は「そう思う」「おおむねそう思う」と回答した人数の割合(%)

1. 楽しく学校に通っている。

心 

	前期	後期	差	《 対策等 》
生徒	86.0%	87.6%	1.6%	○来年度も、「なかまづくり」「夢や目標に向かって挑戦」「新しいことを学ぶ」「学校行事や部活動」「おいしい給食」「読書」など、一人ひとりが楽しみを見つけて生活できる学校を、生徒と共につづけていく。
保護者	93.2%	91.4%	-1.8%	
教職員	100.0%	100.0%	0.0%	

2. 他者を認め、誰とでも仲良くできている。

心 

	前期	後期		《 対策等 》
生徒	81.3%	82.2%	0.9%	○1年を通じて、「自他尊重」の精神を育むために、人権学習を大切にしてきた。自分勝手な言動など、まだ気になる部分はあるが、人権学習で学んだことと自分自身を重ねることで、着実に「自他尊重」の精神が育まれている。
保護者	90.4%	89.2%	-1.2%	
教職員	93.3%	100.0%	6.7%	

3. 自分には、いいところ、得意なこと、がんばってできるようになったことがある。

心 

	前期	後期		《 対策等 》
生徒	72.1%	76.7%	4.6%	○全学年で、道徳や学活等の時間に、「友だちのいいところ探し」を行った。特に1年生では、自尊感情が高まり、学級の雰囲気は温かくなったことがアンケート結果からうかがえる。しばらく継続していきたい。
保護者	95.2%	96.7%	1.5%	
教職員	100.0%	100.0%	0.0%	

4. いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。(生徒)

いじめを許さず、命や人権を大切にする教育に努めている。(保護者・教職員)

心 

	前期	後期		《 対策等 》
生徒	94.6%	94.6%	0.0%	○「いじめをする人は、自分自身がいじめられないかぎり、変わらない」という意見がある。確かに、いじめや差別は「する側」の問題である。ただ、「する側」を「しない、許さない側」に変える方法は他にもあると考える。
保護者	79.8%	86.4%	6.6%	
教職員	100.0%	100.0%	0.0%	

5. まわりに迷惑をかけないよう、きまりを守り、正しい行動ができている。(生徒)

社会人の基礎づくりとして、ルールやマナーを守る生徒の育成に努めている。(保護者・教職員)

心 

	前期	後期		《 対策等 》
生徒	76.7%	79.8%	3.1%	○前期の生徒総会を経て、後期には生徒と生徒指導部が連携し、校則の見直しを行った。みんなが安全・安心に、よりよく生活するためにルールやマナー(校則)がある。自分たちで見直した校則を、一人ひとりしっかり守ってほしい。
保護者	87.5%	87.0%	-0.5%	
教職員	93.3%	88.9%	-4.4%	

6. 授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいる。(生徒)

夢や目標に向かって主体的に学び続ける生徒の育成に努めている。(保護者・教職員)

学力 

	前期	後期		《 対策等 》
生徒	65.1%	62.8%	-2.3%	○「(課題解決に向け)自分で考え、自分から取り組む」ことは、教育目標の「ブラッシュアップ」と重なり、とても大事にしている力である。教師と一部の生徒だけで授業が進んでいないか常に振り返り、全員参加の授業を実現する。
保護者	86.5%	85.6%	-1.0%	
教職員	100.0%	100.0%	0.0%	

7. 授業の内容はよくわかる。(生徒)

わかりやすい授業に努めている。(保護者・教職員)

学力 

	前期	後期		《 対策等 》
生徒	64.3%	63.6%	-0.7%	○人権教育を土台として、①授業(50分)の中で基礎・基本の定着を図る時間を確保する、②めあてとまとめを板書する、③(生徒の)発言は考えの根拠を明らかにする、④ICTの活用、という共通実践事項を来年度も継続する。
保護者	77.9%	82.6%	4.7%	
教職員	100.0%	100.0%	0.0%	

8. 家で自分で計画を立てて勉強をしている。(生徒)

宿題など家庭学習に進んで取り組んでいる。(保護者・教職員)

学力 

	前期	後期		《 対策等 》 2025年度努力事項
生徒	43.4%	38.8%	-4.6%	○8. 家庭学習時間の少なさと9. ゲームやスマホの使い過ぎは、深刻な社会問題だと捉えている。問題解決のきっかけとして、五者連携により、「菊池市小中60運動」を推進していく。
保護者	64.4%	61.3%	-3.1%	
教職員	66.7%	77.8%	11.1%	

9. ゲームやスマホの使い過ぎに気を付け、家庭での生活リズムは安定している。(生徒・保護者)

学校は、家庭、幼保小高、地域と連携し、健全な心身をもった子供の育成に努めている。(教職員)

健康 

	前期	後期		《 対策等 》 2025年度努力事項
生徒	41.1%	51.2%	10.1%	○上記のように、五者連携により、「菊池市小中60運動」やメディアコントロールデーの取組を推進していく。 ○寒さのせい、後期は遅刻者が増えた。特に1年生が多かった。生徒の自立心を高め、遅刻ゼロを実現する。
保護者	40.4%	40.2%	-0.2%	
教職員	93.3%	100.0%	6.7%	

10. 相談ごとを相談できる先生や友達がいる。(生徒)

学校は、相談ごとに適切に対応している。(保護者・教職員)

健康 

	前期	後期		《 対策等 》
生徒	62.8%	62.8%	0.0%	○2月に教育相談を実施。学習面や人間関係の悩みなど、担任に相談できる機会を確保した。いじめなどの相談窓口については、七城中ホームページに掲載している。学校に相談しにくい場合は窓口に相談してほしい。
保護者	79.8%	84.7%	4.9%	
教職員	100.0%	100.0%	0.0%	

11. 授業や行事、部活動等に積極的に参加し体力づくりができている。

健康 

	前期	後期		《 対策等 》
生徒	65.6%	75.6%	10.0%	○持久走・駅伝は、苦手に感じる人も多かったと思うが、大会当日は意欲的に取り組む姿が光っていた。何をやるにも体力があれば続けることができる。日々の体育の授業や部活動で運動不足を解消し、活気ある七城中を実現する。
保護者	89.4%	82.6%	-6.8%	
教職員	93.3%	88.9%	-4.4%	

12. 交通安全、防犯や防災について意識し、安全な生活ができている。

健康 

	前期	後期		《 対策等 》
生徒	82.2%	84.3%	2.1%	○交通安全教室や災害を想定した避難訓練等で、ずっと呼びかけてきたのは、「自分の命は自分で守る（自助）」と「共助」である。他の地域で起きた事故や災害を他人事と捉えず、自分事と捉えて安全を常に確保する。
保護者	90.4%	92.5%	2.1%	
教職員	100.0%	100.0%	0.0%	

13. 掃除や節電など、美しく、優しい環境づくりに努めている。

健康 

	前期	後期		《 対策等 》
生徒	70.5%	80.6%	10.1%	○時間いっぱい黙々と掃除する人もいれば、だれも見えないとまったく掃除しない人もいた。ごみをポイ捨てする大人には絶対にならないでほしい。私たち一人ひとりに、持続可能な社会をつくっていく責任があるのだから。
保護者	93.3%	94.6%	1.3%	
教職員	93.3%	94.4%	1.1%	

14. きちんとあいさつができている。

地域 

	前期	後期		《 対策等 》
生徒	88.3%	94.6%	6.3%	○3年生は面接練習のおかげか、挨拶がさらによくなった。リーダーとしての自覚が芽生えた1・2年生も、さわやかな挨拶の声を校内に響かせていた。ただ、寒さに負け、遅刻気味で登校する生徒は挨拶の音が小さかった。
保護者	86.4%	89.1%	2.7%	
教師	73.3%	72.2%	-1.1%	

15. 地域をよくするために、何をすべきか考えたり、行動したりしている。

地域 

	前期	後期		《 対策等 》
生徒	45.0%	51.9%	6.9%	○秋冬に、市人権フェスティバルや文化祭など開催され、積極的に参加し、堂々と発表する生徒の姿が見られた。 ○公民館や公園利用のルールについて、全生徒に対し、考えさせたり、指導したりする場面を設けた。
保護者	50.0%	54.5%	4.5%	
教職員	66.7%	72.2%	5.5%	

16. 学校は、家庭や地域と連携し、学校の様子をホームページなどで分かりやすく伝えている

地域 

	前期	後期		《 対策等 》
生徒				○PTA運営委員会において、プリントによるお知らせを減らし、安心メールの配信やホームページによるお知らせへと変更していくことの了承を得た。紙の節約（SDGs）及び印刷作業等の負担軽減にもつながっている。
保護者	79.6%	79.1%	-0.5%	
教職員	100.0%	100.0%	0.0%	